

# X-RiteColor® Master Web バージョン

このドキュメントでは X-RiteColor Master Web バージョンのインストール手順を説明します。必ずここで紹介される手順に従って設定を実行してください。続行する前に、Windows Server 2008 (R2)、2012 (R2) または 2016 がインストールされており、リモートデスクトップサービス（ターミナルサービス）が実行されていることを確認してください。このサーバーは他の目的には使用せず、X-RiteColor Master 専用サーバーとして使用してください。また、アプリケーションの適切な動作の妨げになるドメインの設定を避けるため、他のドメインへの接続はしないでください。サーバーがファイアウォールの後ろにある場合は、必ず TCP ポート 3389（UDP を使用する際は 3391）がファイアウォールを通してアクセスできるようにしてください。

Windows 2008 (R2) がインストールされており、「サーバーの役割」で下図のように設定されていることを確認してください。

（図 1 参照）Windows Server 2012 (R2) または Windows Server 2016 がインストールされており、「サーバーの役割」で下図のように設定されていることを確認してください。（図 2 参照）

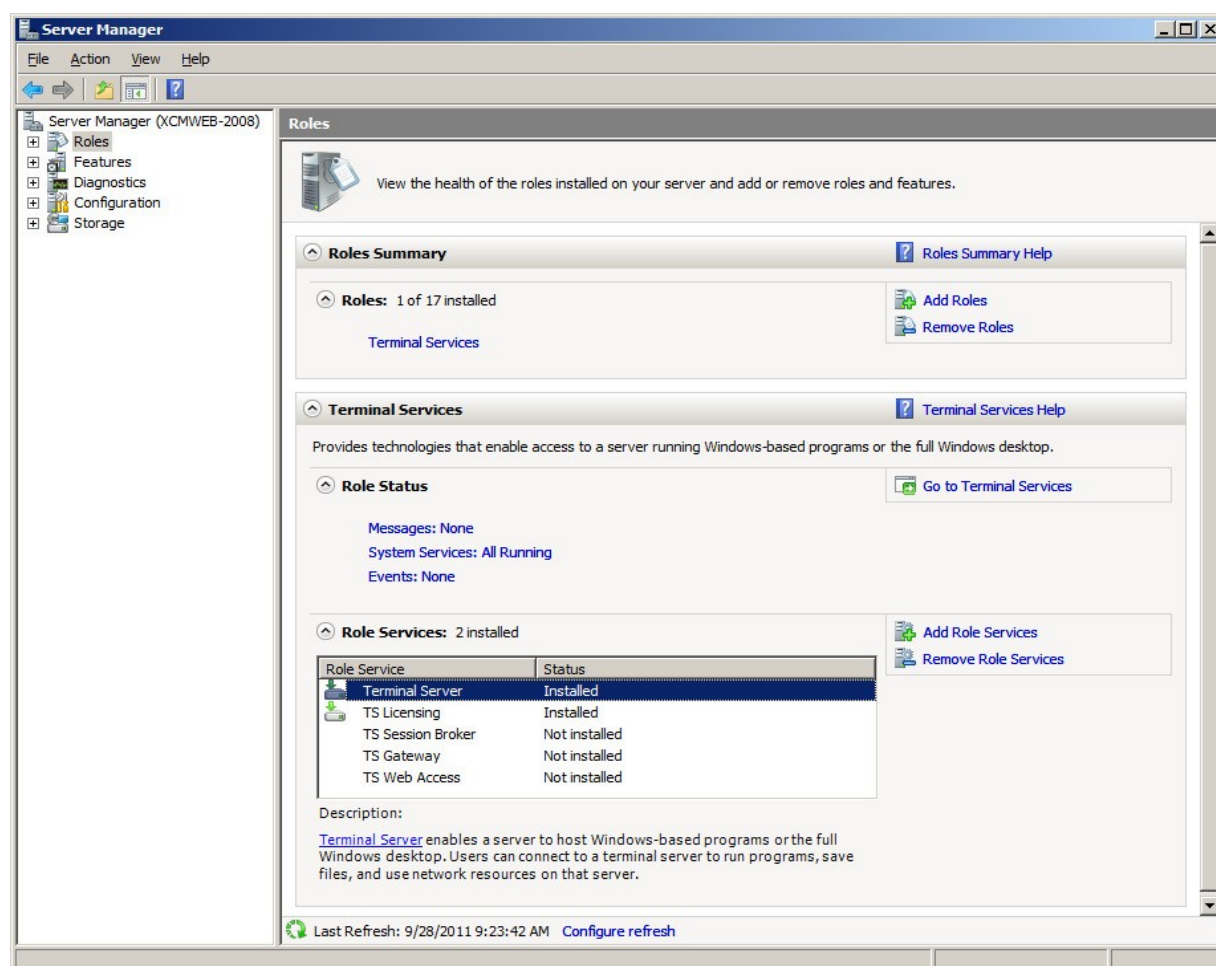


図 1

## X-RiteColor® Master Web バージョンのインストール手順

The screenshot displays the Server Manager interface. The left sidebar shows navigation options, with 'Servers' selected. The main area is divided into three sections: 'SERVERS', 'EVENTS', and 'SERVICES'. Each section includes a search filter, view options, and a table of data.

**SERVERS**  
All servers | 1 total

Server Name	IPv4 Address	Manageability	Last Update	Windows
XRGRRCTX001D	10.27.148.159	Online - Performance counters not started	8/4/2021 9:46:30 AM	00252-70

**EVENTS**  
All events | 2 total

Server Name	ID	Severity	Source	Log
XRGRRCTX001D	20499	Warning	Microsoft-Windows-TerminalServices-RemoteConnectionManager	Micro
XRGRRCTX001D	20499	Warning	Microsoft-Windows-TerminalServices-RemoteConnectionManager	Micro

**SERVICES**  
All services | 3 total

Server Name	Display Name	Service Name	Status	Start Type
XRGRRCTX001D	Remote Desktop Services	TermService	Running	Manual
XRGRRCTX001D	Remote Desktop Licensing	TermServLicensing	Running	Automatic
XRGRRCTX001D	Remote Desktop Gateway	TSGateway	Running	Automatic (Delayed Start)

図 2

### インストールのアップデート

旧バージョンをアップデートする場合、X-RiteColor Master Web バージョンを使用中のすべてのユーザーは一度ログオフする必要があります。**管理者としてログインし**、X-RiteColor Master Web バージョンをインストールします。Windows Server 2008 (R2) には、[コントロールパネル] → [プログラム] → [ターミナルサーバー] → [アプリケーションをインストール] の手順を実行してください。(図 3) Windows Server 2012 (R2) または [コントロールパネル] → [プログラム] → [リモートデスクトップサーバー] → [アプリケーションをインストール] の手順を実行してください。(図 4)

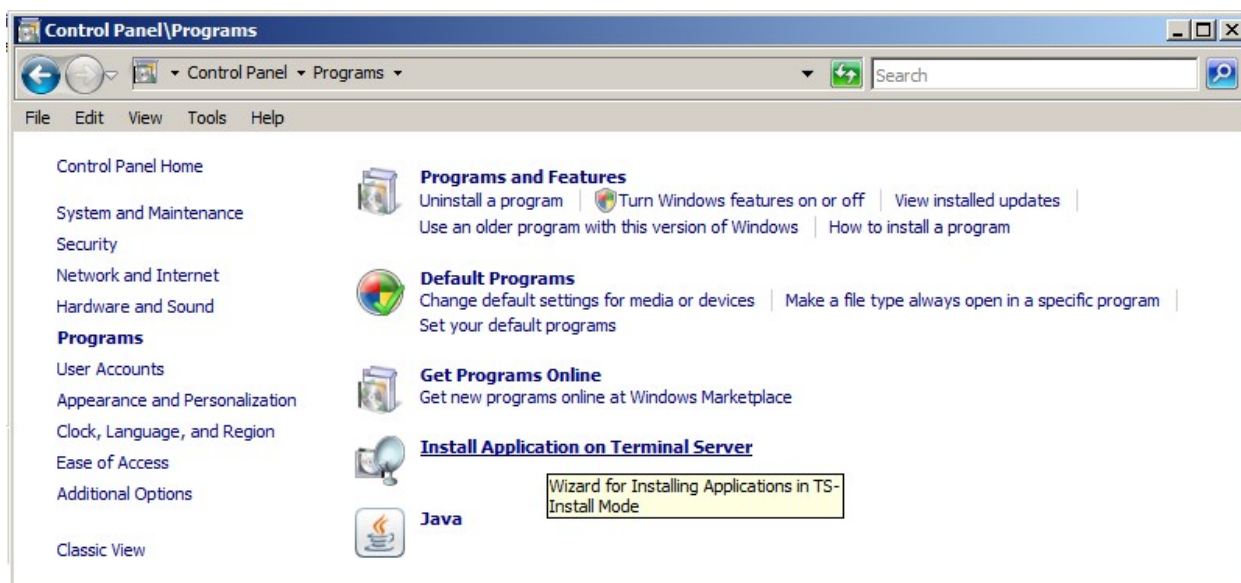


図 3

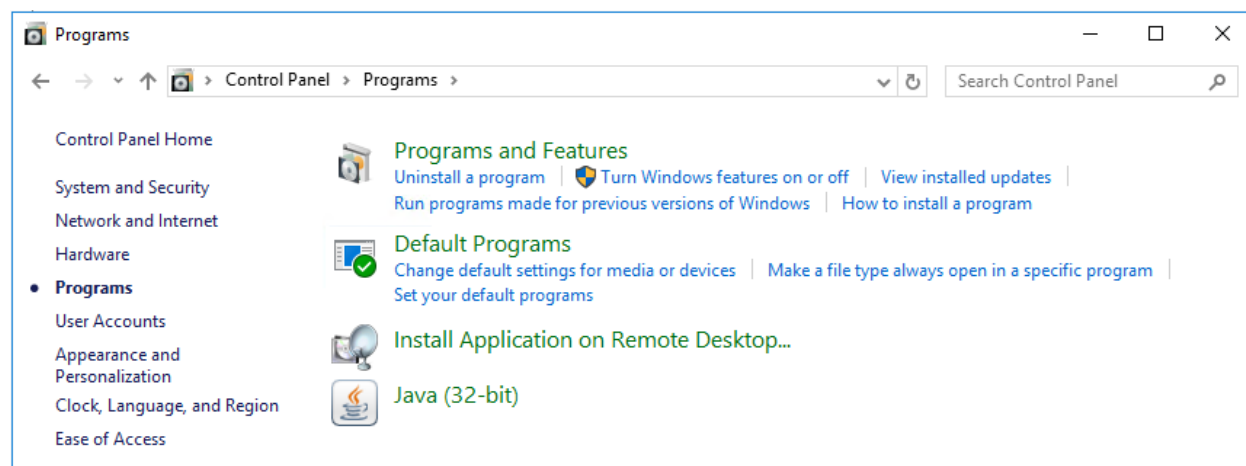


図 4

## X-RiteColor® Master Web バージョンのインストール手順

これで、サーバーが自動的にインストールモードになります（図 5）。この手順は、ターミナルサービスにプログラムをインストールする際に必要です。インストール時はすべての既定を受け入れてください。



図 5

インストールのアップデートが完了する直前に、**管理者名**が「admin」になったログイン画面が表示されます。（図 6 参照）

1. 現在の**管理者用パスワード**を入力してください。（既定のパスワードは「password」です。）
2. [OK] をクリックします。
3. [終了] をクリックします。

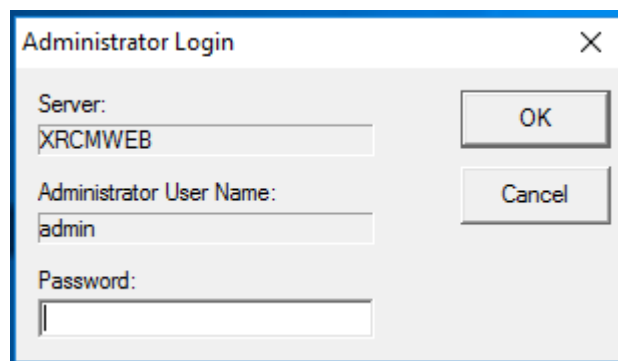


図 6

### 新規インストールおよびユーザー設定

まず最初に X-RiteColor Master Web バージョンをサーバーにインストールしてください。

**管理者としてログインし**、X-RiteColor Master Web バージョンをインストールします。インストール時はすべての既定を受け入れてください。

#### 製品ライセンス

X-RiteColor Master はライセンスされていないと起動できません。

1. デスクトップ上のアイコンを [アクティベーション] ダブルクリックしてください。 [アクティベーション] のダイアログが開きます。  
(図 7)
2. ご購入された製品を選択し、OKをクリックします。

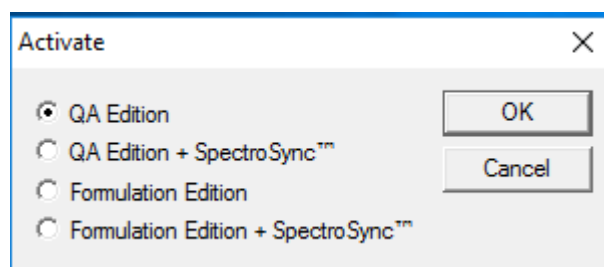


図 7

3. ダイアログが表示されたら (図 8)、新しいライセンスキーを入力して、[ライセンス] をクリックします。

または

ライセンスキーを入手していない場合は、[オンライン登録はこちらをクリックしてください] をクリックし、製品登録を行うことでライセンスを入手することができます。

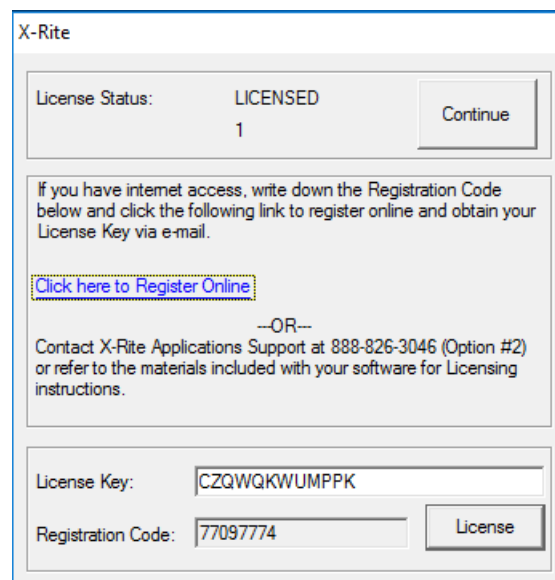


図 8

## ターミナル サービス/リモート デスクトップの構成

1. **Windows Server 2008 (R2) には** Windows のスタートメニューから [プログラム] → [管理ツール] → [ターミナルサービス] → [ターミナルサービス構成] を選択します。
2. [ターミナル サービス構成] のダイアログから、図 9 に表示されている項目を選択します。

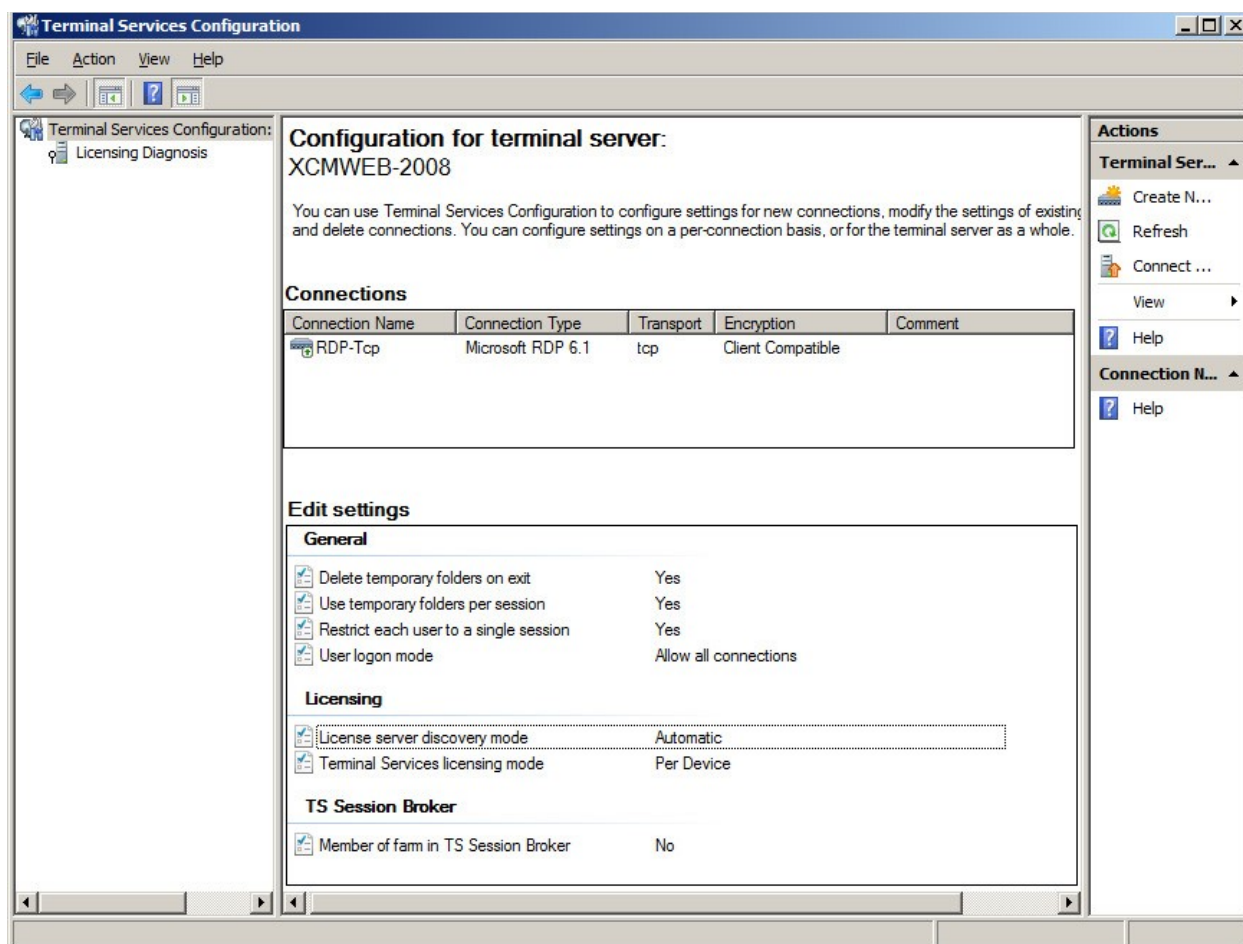


図 9

3. [接続] から [RDP-Tcp] を右クリックし、[プロパティ] を選択してください。
4. [プロパティ] のダイアログから、[セッション]、[リモート制御]、[クライアントの設定] の各設定を下図に従って変更します。

## X-RiteColor® Master Web バージョンのインストール手順

[セッション] をクリックし、図 10 に表示されている項目を選択してください。

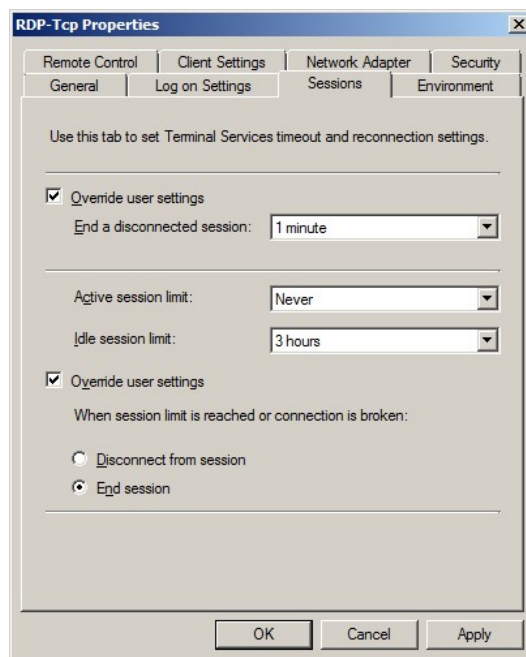


図 10

5. [リモート制御] をクリックし、図 11 に表示されている項目を選択してください。

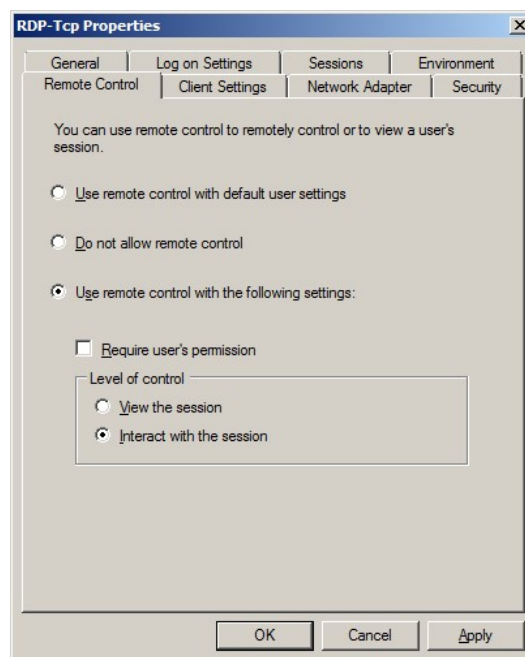


図 11

## X-RiteColor® Master Web バージョンのインストール手順

6. [クライアントの設定] をクリックし、図 12 に表示されている項目を選択してください。

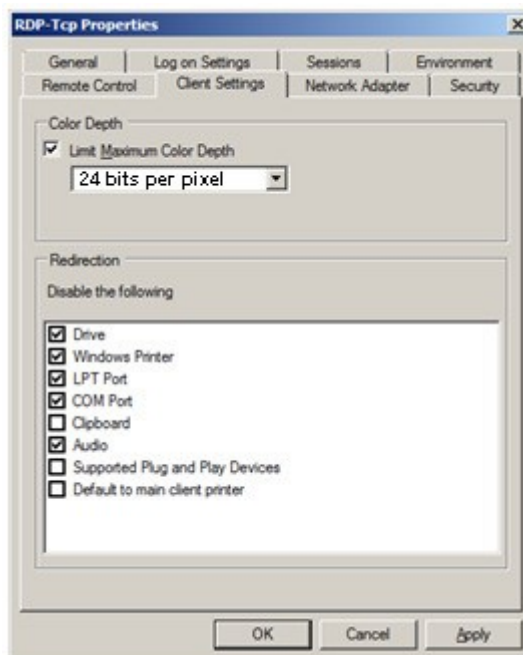


図 12

7. [許可] をクリックし、[リモートデスクトップユーザー]、[ターミナルサーバーユーザー]、[ユーザー] に対する項目を選択してください。(図 13 参照)

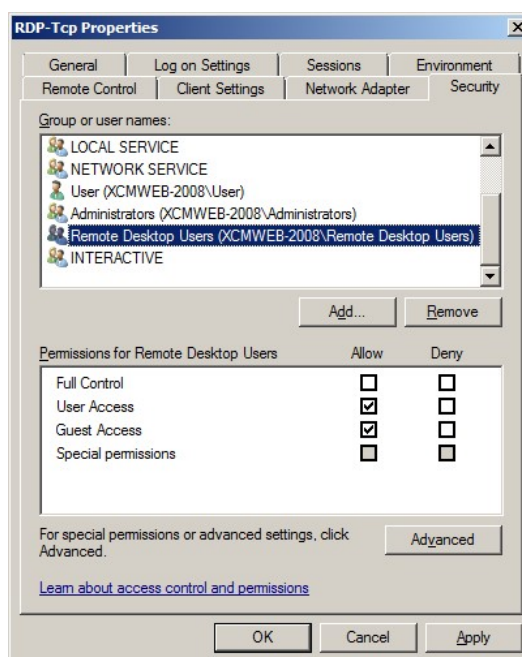


図 13



## X-RiteColor® Master Web バージョンのインストール手順

8. [環境] をクリックし、図 14 に表示されている項目を選択してください。
9. [OK] をクリックして設定を保存し、ダイアログを閉じてください。

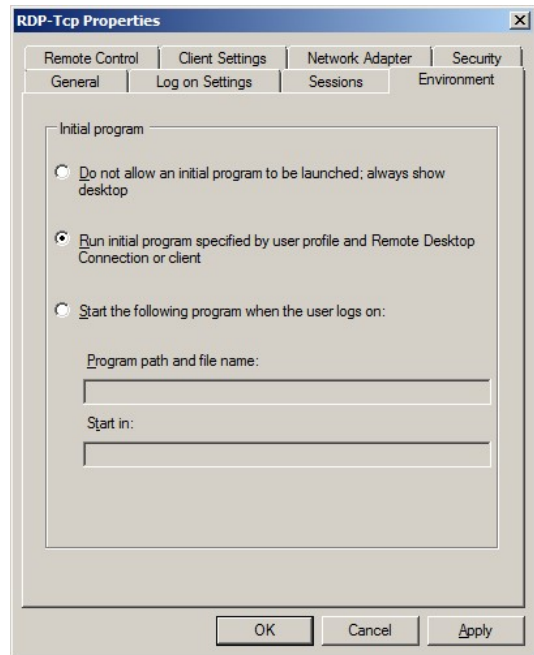


図 14

## X-RiteColor® Master Web バージョンのインストール手順

10. Microsoft 管理コンソール (mmc) を使用し、図 15 および 16 に表記される設定を適用します。

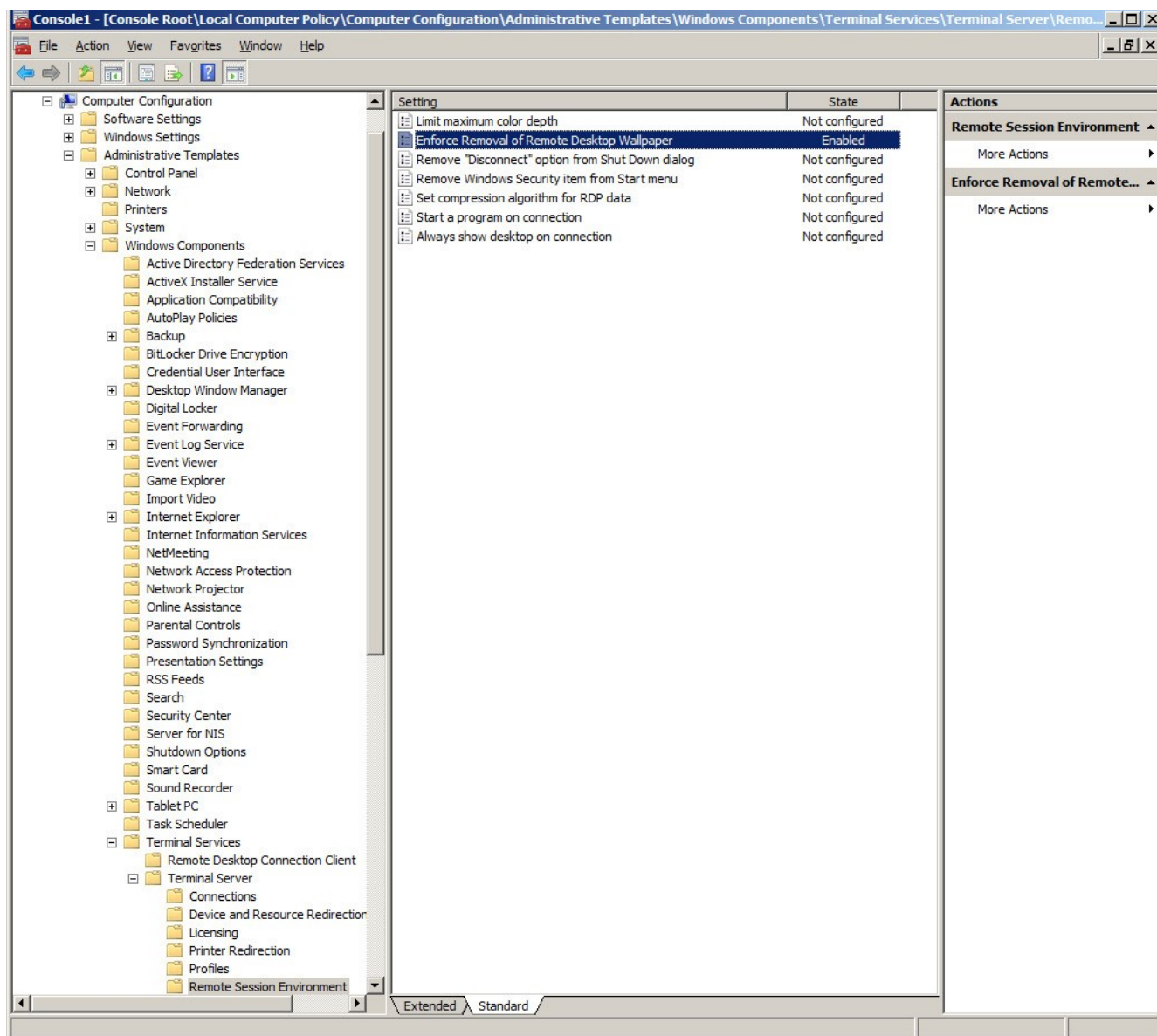


図 15

## X-RiteColor® Master Web バージョンのインストール手順

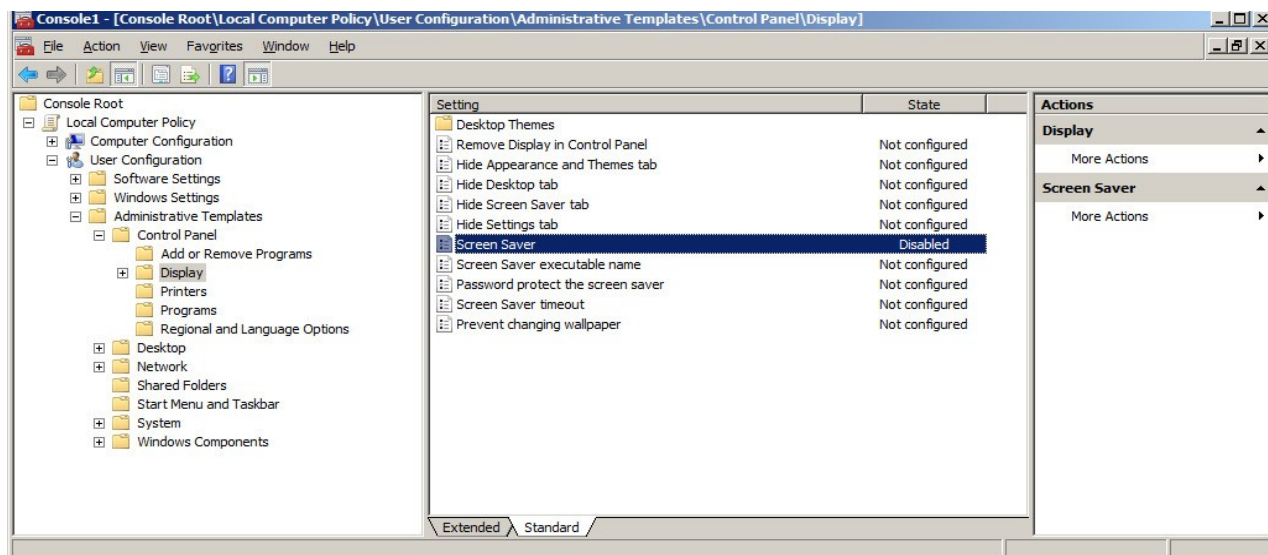


図 16

11. **Windows Server 2012 (R2)** または **Windows Server 2016** には、[サーバマネージャー] → [ツール] → [ターミナルサービス] (または [リモートデスクトップサービス]) → [リモートデスクトップ ゲートウェイ マネージャー] をクリックします。
12. 図 17 のように [接続承認ポリシー] をハイライト表示し、[新規ポリシーの作成] を選択します。
13. ポリシーに名前を付け (例 : XCM Web)、図 18、19、20 に表示される項目を追加します。

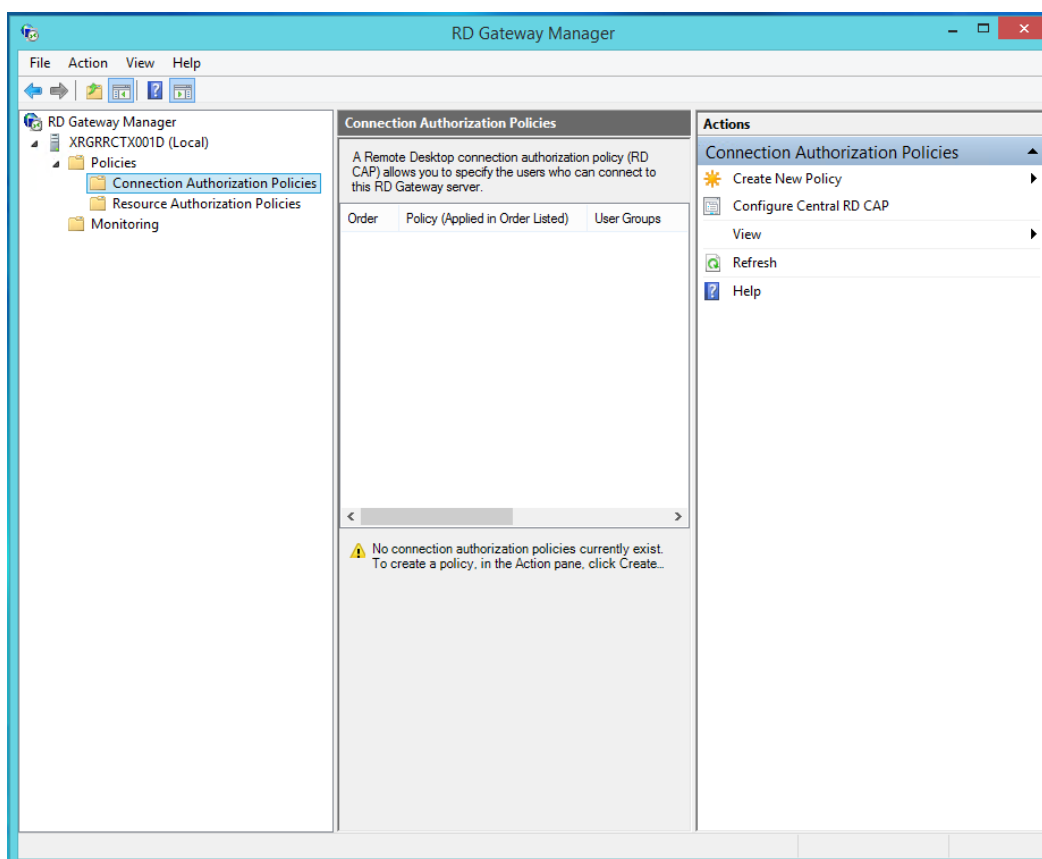


図 17

## X-RiteColor® Master Web バージョンのインストール手順

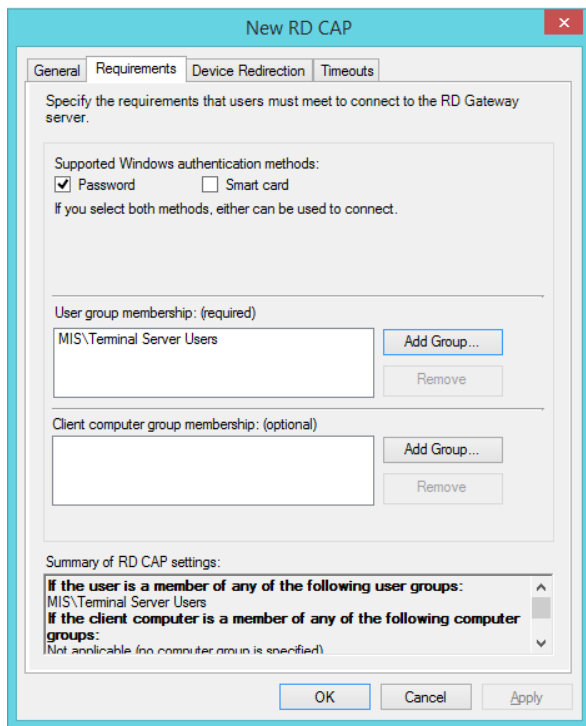


図 18

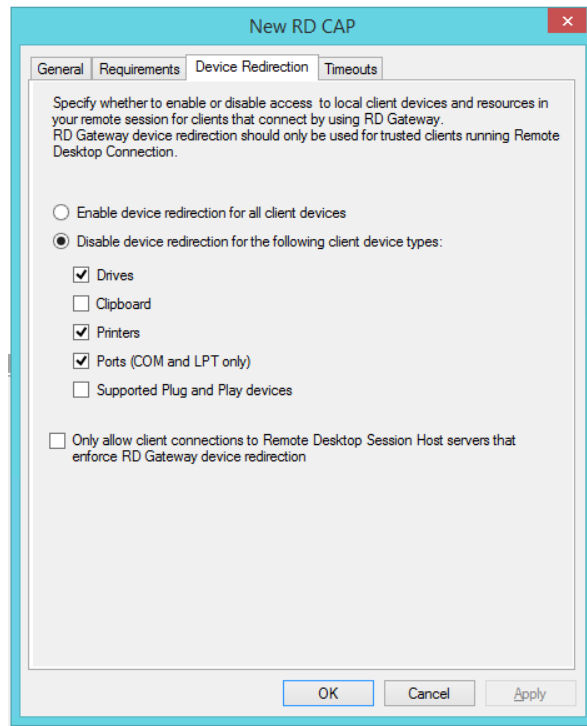


図 19

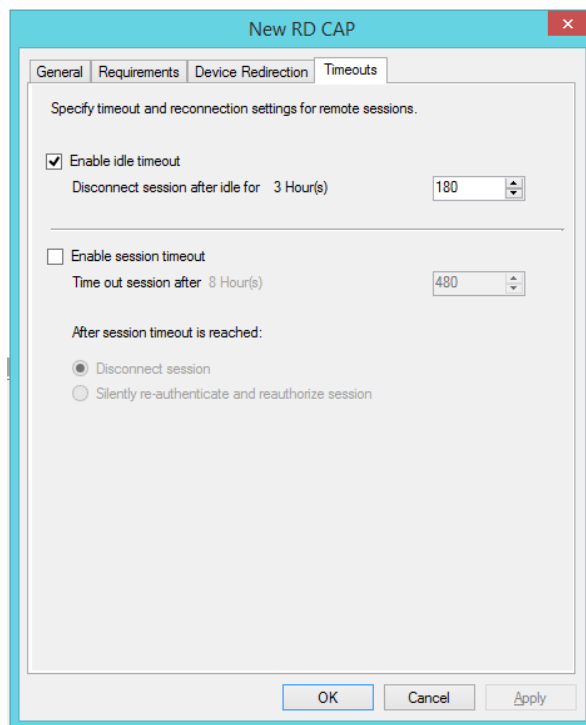


図 20

### X-RiteColor Master ユーザーの作成

1. X-RiteColor Master のユーザーは次の 2 つのレベルで作成する必要があります。1. コンピュータにログインできるユーザー。2. X-RiteColor Master 内で管理者ユーティリティを使用して作成したユーザー。まずはコンピュータ ユーザーを作成します。
2. 作成されたユーザ名を右クリックし、[プロパティ] を選択します。

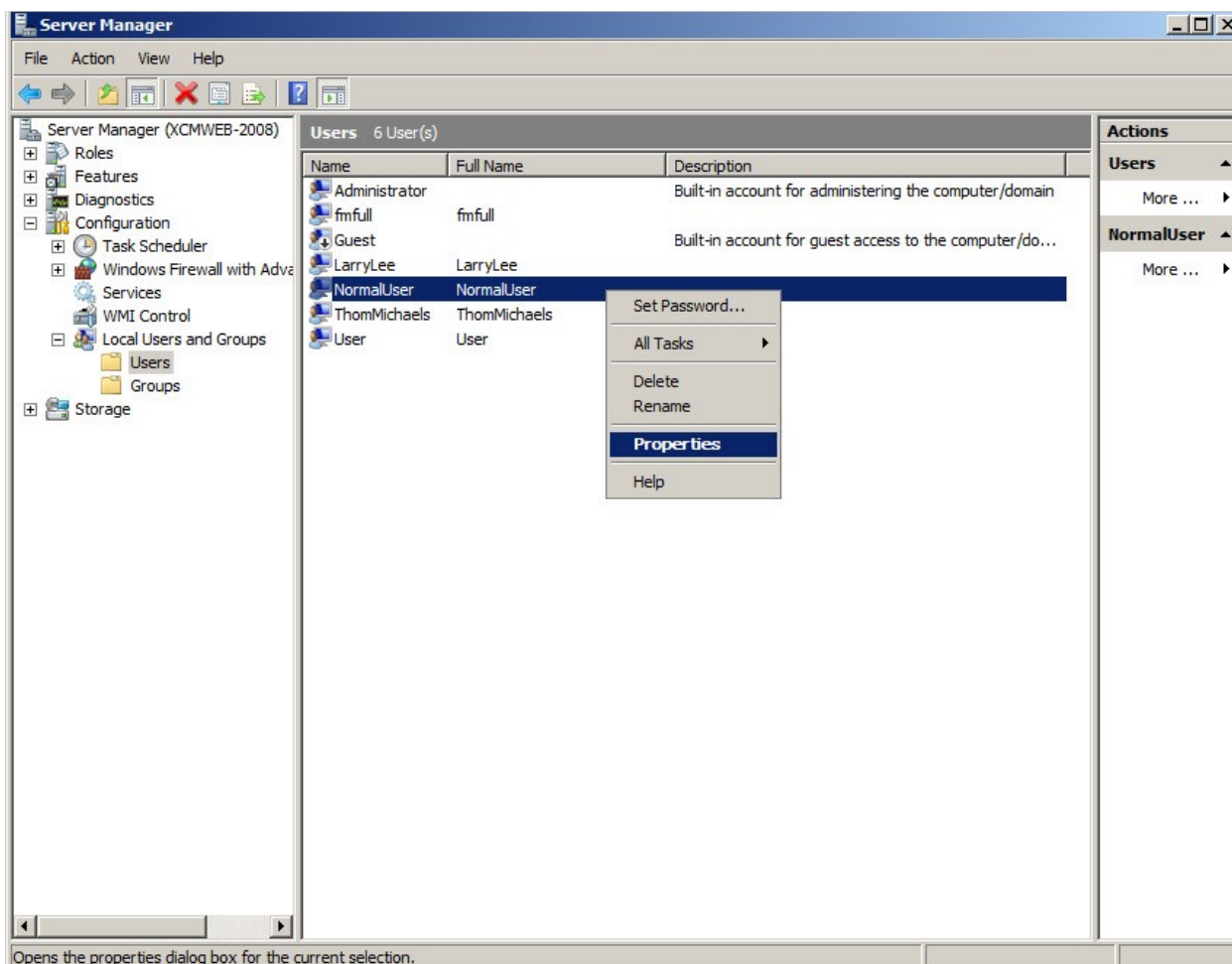


図 21

## X-RiteColor® Master Web バージョンのインストール手順

3. [プロパティ] ダイアログから [所属するグループ] タブをクリックし、図 22 のように [リモートデスクトップユーザー] を追加します。

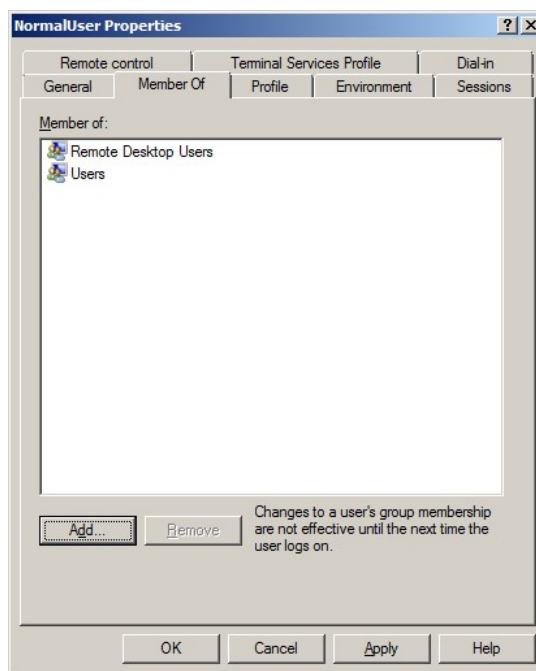


図 22

4. [プロパティ] ダイアログから [環境] タブをクリックし、図 23 に表記される [起動プログラム] を設定します。[クライアントのデバイス] は、[ターミナルサービス構成] により上書きされるため無視してください。
5. [OK] をクリックしてすべての設定を保存し、ダイアログを閉じてください。

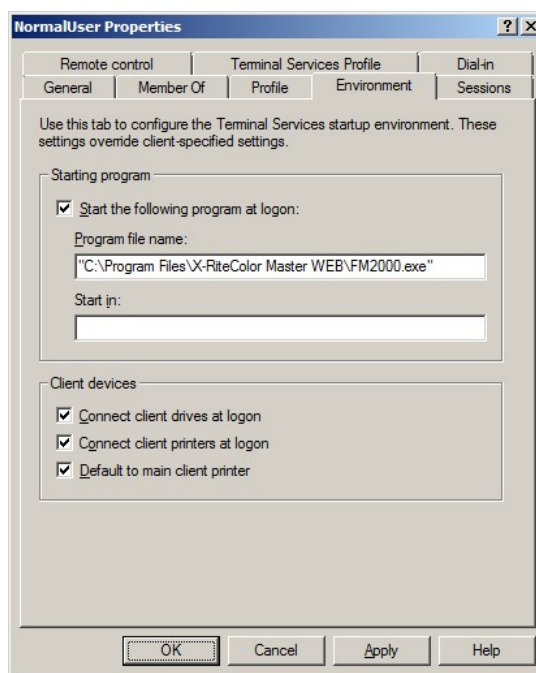


図 23

## X-RiteColor® Master Web バージョンのインストール手順

6. コンピュータ ユーザーを作成した後、デスクトップから XAdmin ユーティリティを起動します。ユーザー名に「admin」が指定された管理者のログイン画面が表示されます。（すでに変更されている場合を除く）
7. パスワードとして「password」（すべて小文字）を入力します。
8. [OK] をクリックします。

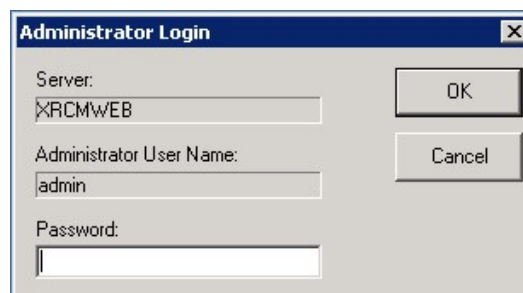


図 24

9. X-Admin データベース管理者が表示されたら [ユーザー管理] を選択します。

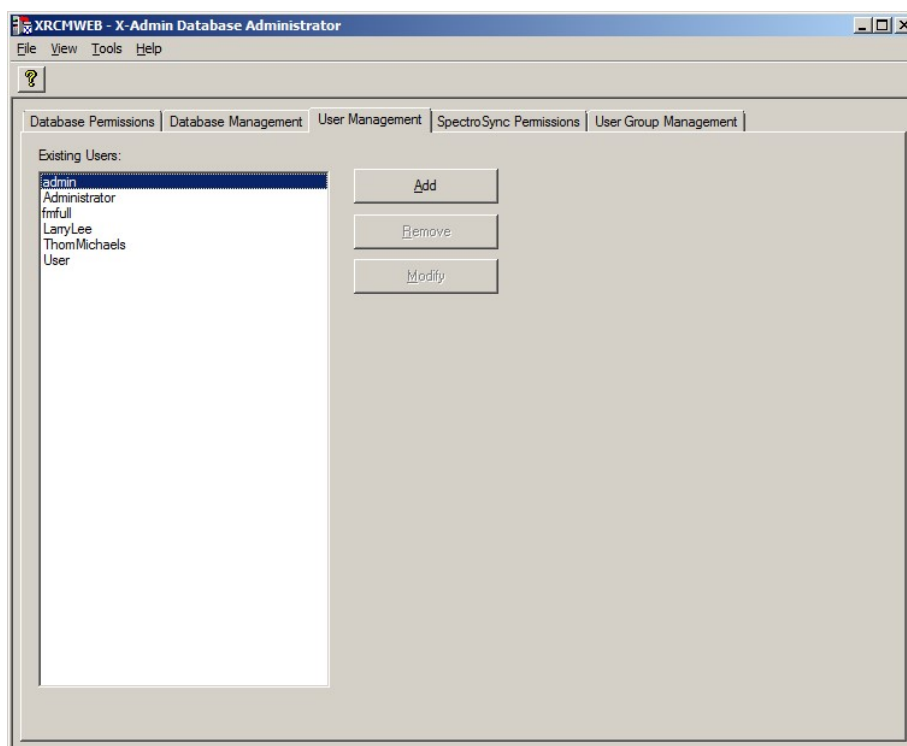


図 25

## X-RiteColor® Master Web バージョンのインストール手順

10. ユーザーを追加するには、ユーザー名を選択し、**[追加]** を選択してください。図 26 は「NormalUser」を作成した例です。パスワードはすべてのユーザーに対して「password」と設定されていなければなりません。ここで入力されたユーザー名は、**コンピューターのユーザーにすでに設定された名前と同一（大文字と小文字の区別）である必要があります。**

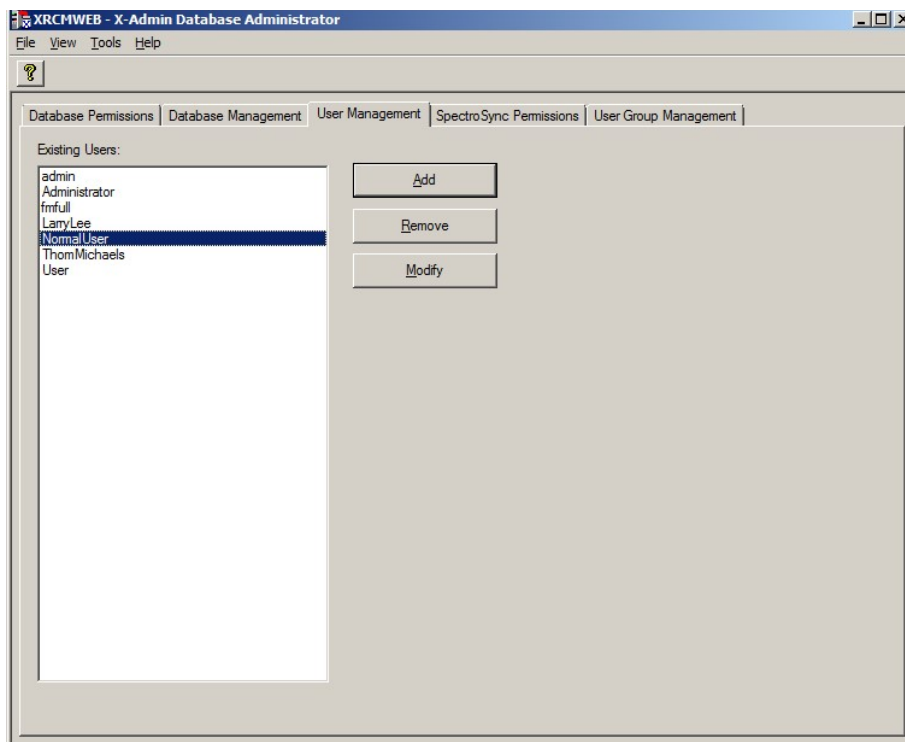


図 26

11. **[データベースのアクセス許可]** をクリックし、各ユーザーに許可される内容を設定します。

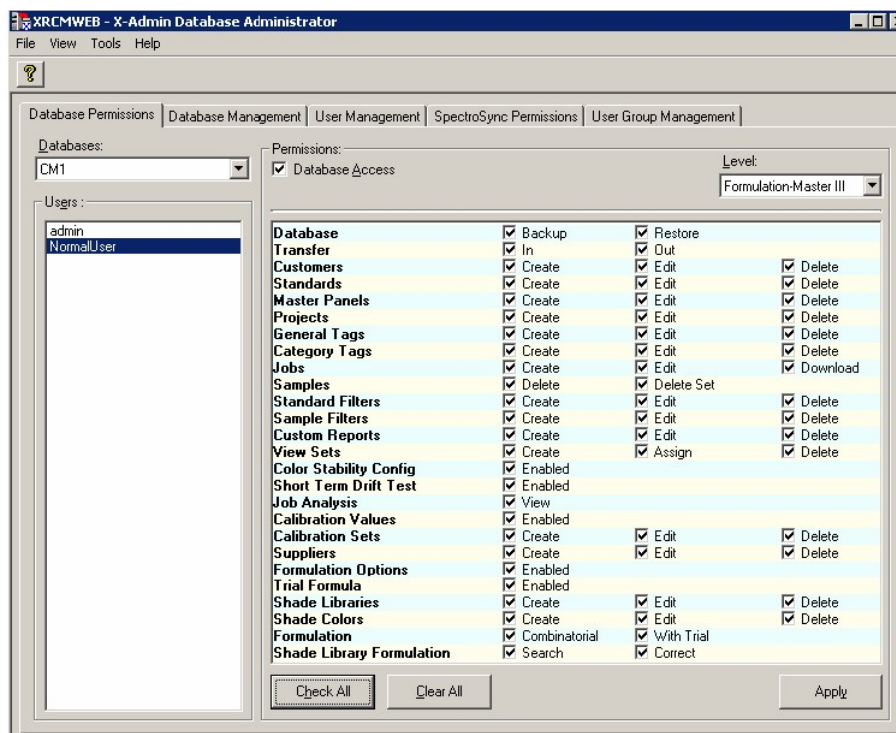


図 27



## X-RiteColor® Master Web バージョンのインストール手順

12. [レベル] のドロップダウンメニューから X-RiteColor Master のアクセスレベルを指定します。このオプションは、Web バージョンの場合、各ユーザーごとに設定する必要があります。

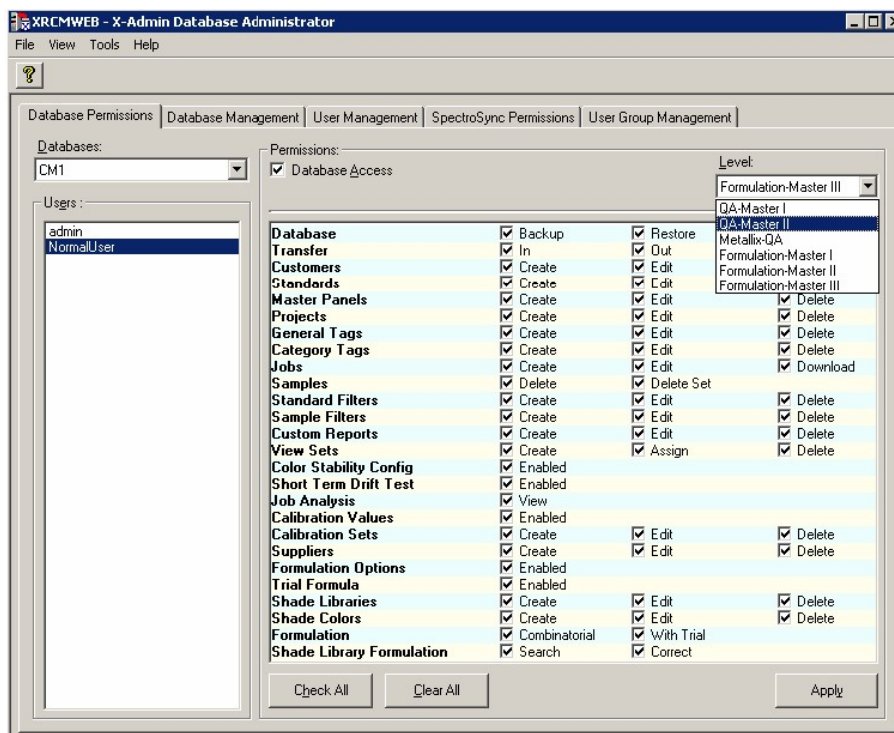


図 28

## X-RiteColor® Master Web バージョンのインストール手順

### ユーザーのアクセス許可

1. Windows エクスプローラを起動し、X-RiteColor Master Web フォルダを開きます。

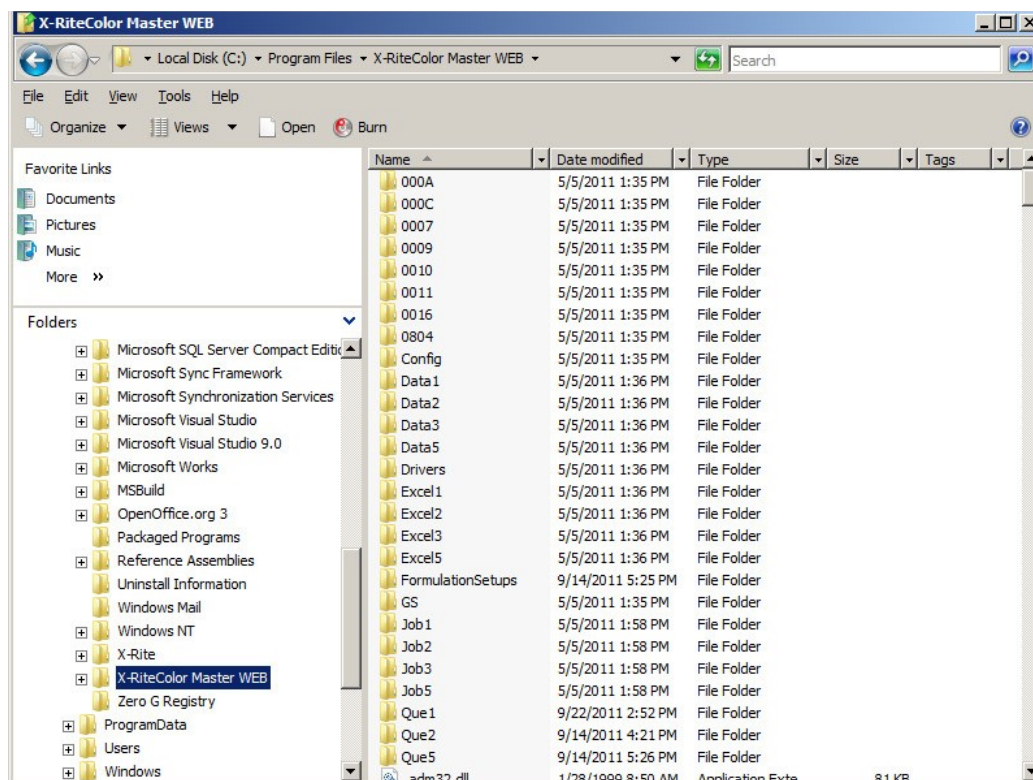


図 29

2. フォルダ名を右クリックし、[プロパティ] を選択してください。
3. [セキュリティ] をクリックし、[ユーザー] を選択します[リモートデスクトップユーザー]、[ターミナルサーバーユーザー]、[ユーザー] に対し、[許可] から [読み取りと実行] にチェックを入れます。X-RiteColor Master の使用に必要なファイルやフォルダがあるため、この作業が必要となります。
4. [OK] をクリックして設定を保存し、ダイアログを閉じてください。

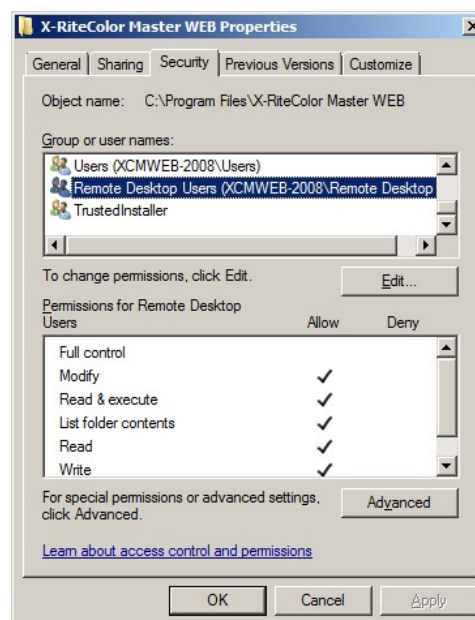


図 30

## X-RiteColor® Master Web バージョンのインストール手順

### プリンターのインストール手順

1. [プリンター] のダイアログから [プリンターを追加] を選択し、ローカル プリンターを追加します (OS によって図 31 または図 32)

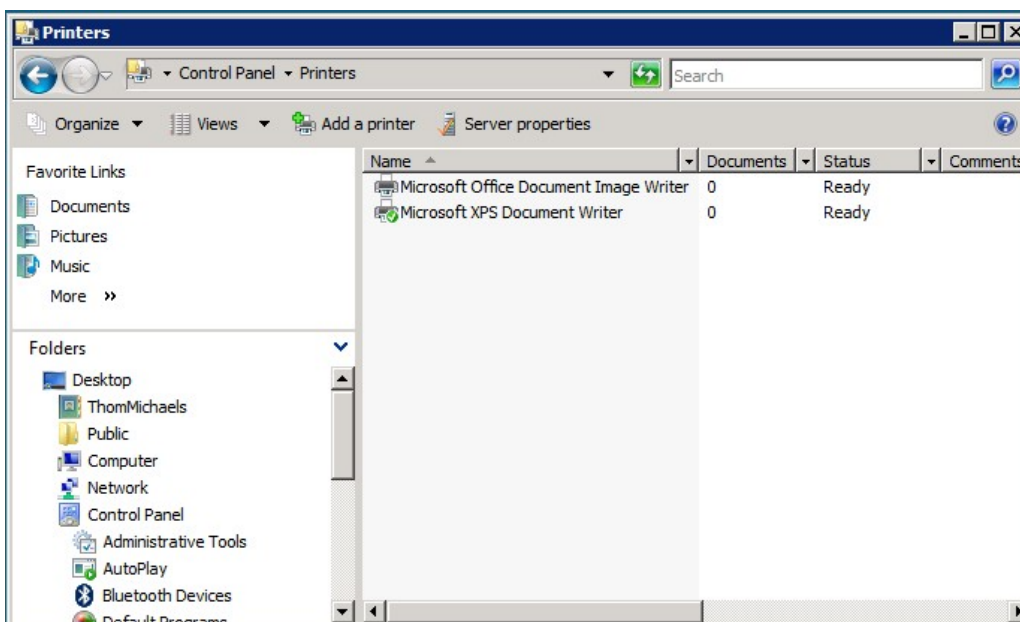


図 31

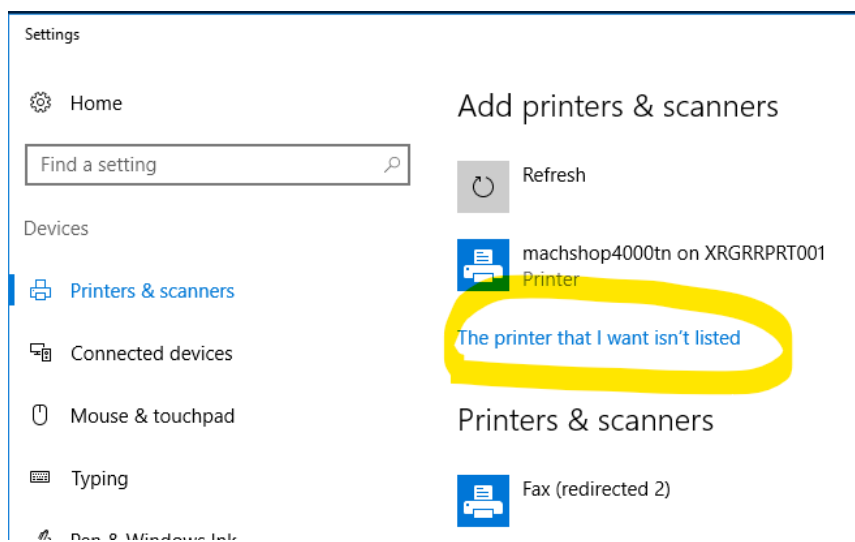


図 32

2. [ローカル プリンターを追加] をクリックします。(OS によって図 33 または図 34)

## X-RiteColor® Master Web バージョンのインストール手順

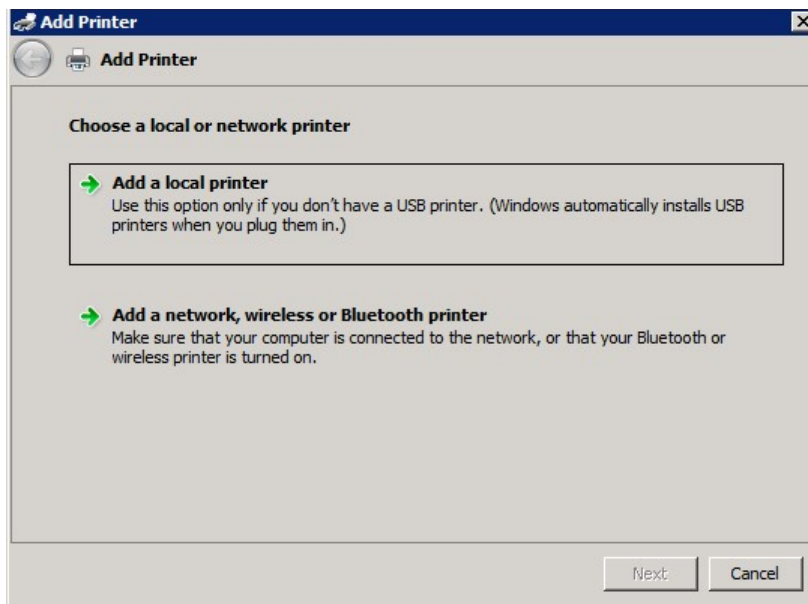


図 33

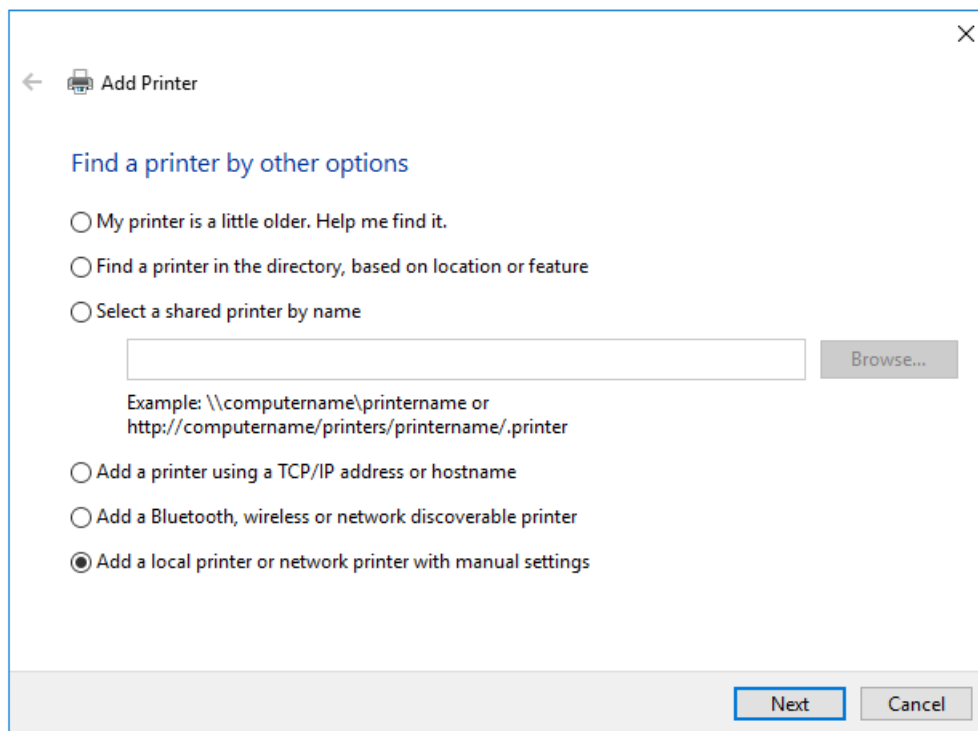


図 34

## X-RiteColor® Master Web バージョンのインストール手順

3. プリンターポートに [ファイルへ出力] をクリックします。

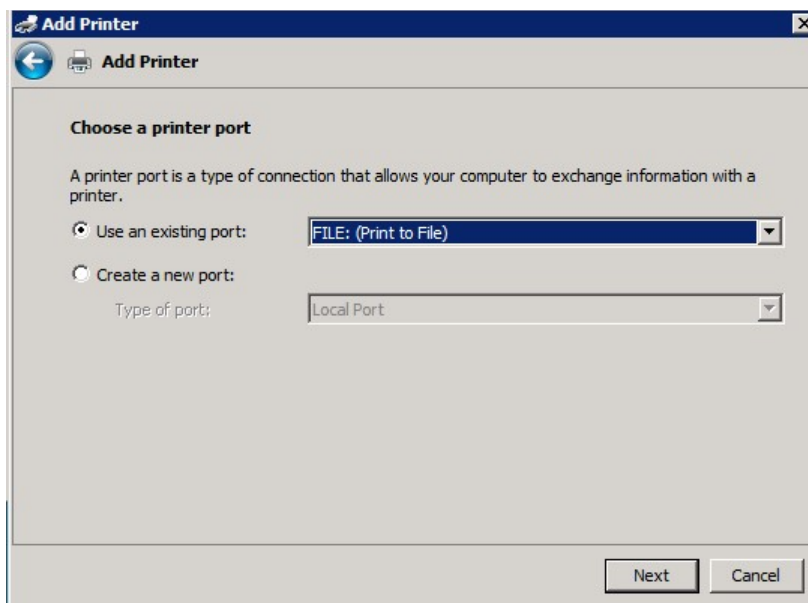


図 35

4. 「HP Color Laser Jet 2800 Series PS」を選択します。システムによって、別のドライバが必要な場合があります。全てのシステムに共通のドライバはありません。唯一の条件は、PostScript (PS) プリンターのドライバであることです。

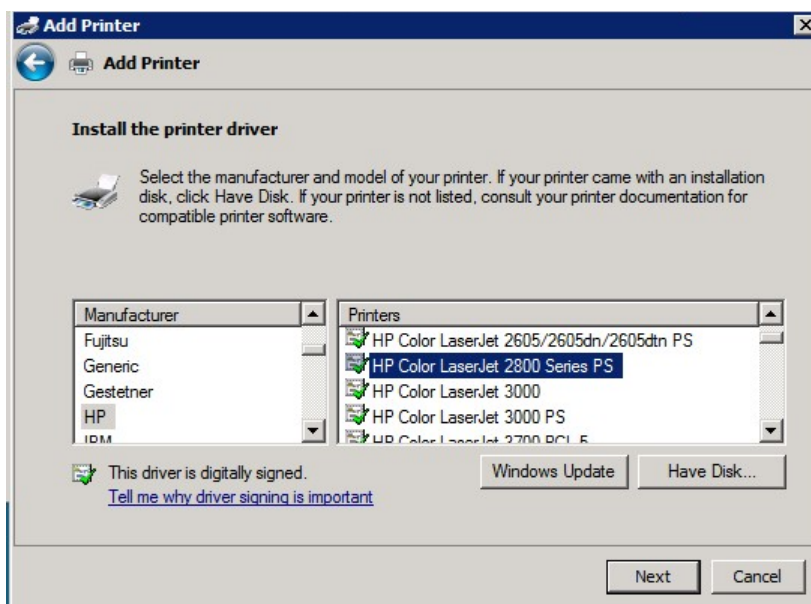


図 36

## X-RiteColor® Master Web バージョンのインストール手順

5. プリンターに「PSFILE」の名前を付け、既定のプリンターに設定します。

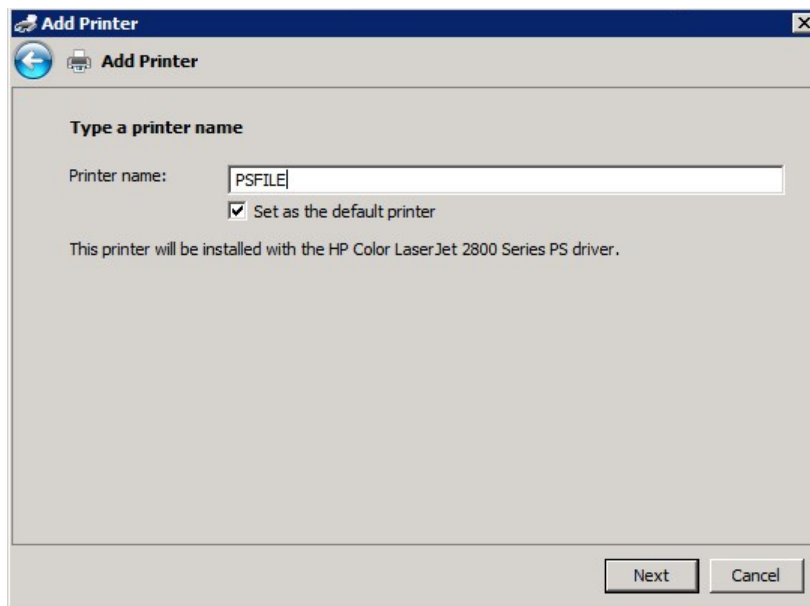


図 37

6. プリンターは共有しないでください。

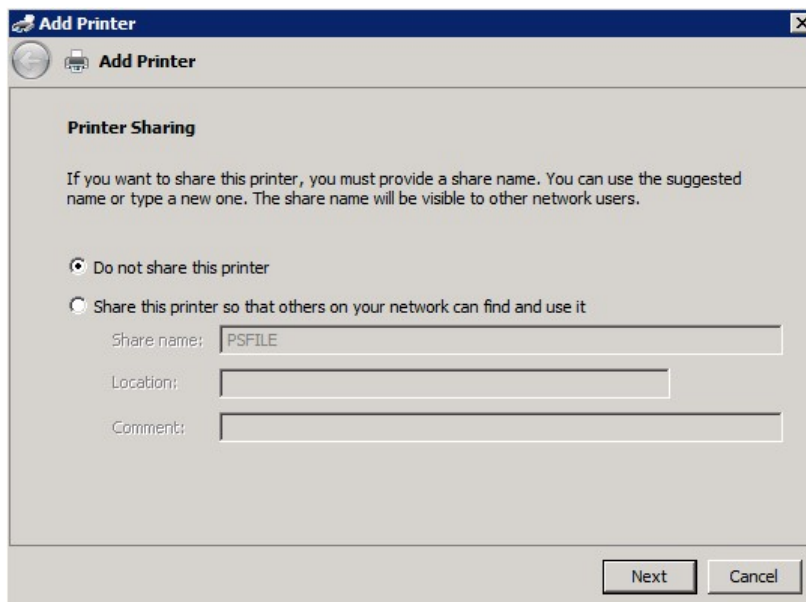


図 38

## X-RiteColor® Master Web バージョンのインストール手順

### クライアント コンピュータのインストール手順

1. CD から「Client Install」フォルダを指定します。
2. X-RiteColor Master Web バージョンをアクセスする各クライアント コンピュータで実行可能ファイル（X-RiteColor Master Client vX.X.exe）を指定して実行します。クライアントが設定され、サーバーから X-RiteColor Master を起動するショートカットがデスクトップに表示されます。スクリプトまたはその他の管理ツールを使用してインストール作業を自動化する「サイレント インストール」バージョン（XRCM Client Silent Install vX.X.exe）も用意されています。

